

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 藤の園

— 目 次 —

◆ 法人報告	1、2
◆ 役員を選任	3
◆ 役員会等の開催状況		
(1) 理事会	3
(2) 評議員会	4
(3) 委員会等	4
◆ 監査等		
(1) 札幌市	5
(2) 監事監査	5
◆ 研修実施状況	6
◆ 補助金受入状況	6
◆ 資金収支実績	7

令和3年度 法人報告

昨年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルスの影響が法人の経営および運営に大きく暗い影を落とした年度となった。法人の事業所・施設内におけるワクチン接種をはじめ日頃からの予防対策等を徹底した結果、施設・事業所内で感染者は出たものの、幸いなことにクラスターの発生にまでは至らず、事なきを得た状態となっている。国内の感染者状況を踏まえると、いつ、どこから感染が始まってもおかしくない状況であり、「感染症は発生する」という認識に立ったうえで、発生した後の初動体制をしっかりと実践してきた結果であったと思われる。職員がそのための協力と努力を惜しまなかったことにまずは感謝申し上げたい。

しかしながら、法人経営の観点からは利用稼働率の減少に伴い、収入も大きく減少しており、このことが法人経営における収支状況悪化の最大の要因となっている。また支出については、感染予防や対策に要する費用、および国からの補助を受けてはいるが「介護ロボット・ICT導入支援事業」等による自己負担が支出を押し上げ、収支状況の悪化をもたらす一要因となっている。

運営面においても、当初に予定していた行事やイベント等をはじめ、生活上の支援内容を余儀なく変更しなければならず、利用者の生活や支援の幅を狭めざるを得ない状況となった。そのような状況下で祝典には至らなかったが、法人設立50周年事業としての記念誌を発行し、これまでの法人の歩みを関係者にお伝えすることができた。

ここ数年の月形藤の園は、その立地条件等から人員配置基準を下回るほどの職員不足に悩まされ、それに伴って入所定員数を少なく調整せざるを得ない状況にあったことから、経営的にも運営的にも人材確保が急務の状態にあった。今年度、近隣地域への求人募集や職員の縁故を頼り人員確保に努める一方で、職員定着に向けての労働環境の課題や改善を図ってきた。結果として、令和3年4月以降の介護・看護職の離職者はいない状況で、最終的に4名の介護職員、2名の看護職員をプラス確保することができた。人員の確保に伴い入所定員数も満床に近づいている状況にある。しかしながら、介護職、栄養士に関しては職員が充足しているとは言い難く、人材確保に向けての取り組みをさらに図る必要がある。

人材定着のための取組みとして、北海道の「介護ロボット導入支援事業」の補助を受け、施設内のICTとハイテク化を進めている。時代と共に介護の在り方や方法論が変化しており、最新の介護環境を整えることが人材の確保にもつながるものと確信している。

養護部では、市町村の措置控え等の理由から8年前から欠員が生じていたが、「契約入所」の整備に伴い実施機関への働きかけを行ったところ3月には満床となっている。今年度は赤字額の圧縮に努めたところであるが、慢性的な赤字体質から収支のバランスがとれる体制作りが今後の課題になる。一方で障がい者雇用や高齢者雇用を先駆的に行い、これまでの支援のあり方を見直す中で「自立支援」に向けたケアが展開できるよう改善を図ってきた。

羊丘藤保育園は昨年度に引き続き、札幌市からの委託料の減算が適用されることに加え、新型コロナウイルス感染の影響を受け大幅な減収となっている。新型コロナウイルス感染の予防や対応のための支出も余儀なく実施せざる得ない状況で、札幌市との協議により修繕積立金の取り崩しを行って、収支のバランスを整えたところではあるが、今後の保育所の運営には危機感をもってあたる必要があると思われる。

国は社会背景やニーズから、幼保一元化の動きを数年前から見せており、今後の保育所運営にも少なからず影響が出るものと思われる。いわゆる「認定こども園」への移行も含め、検討されなければならない課題と考える。

訪問介護事業所「花川聖マリア」は、花川マリア院との連携のもとで運営されている事業所である。介護職、とりわけホームヘルパーについては人材確保がより一層むずかしい状況の中で、人員補充も比較的順調に推移してきた。そのような環境の中でも職員がしっかりとケアの質を保ちながら運営されていることが実績に結びついているものと思われる。

令和4年度、前任者の退職に伴う新しい管理者のもとで、さらなる期待が寄せられるところである。

社会福祉法人はその高い公益性にかんがみ、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が求められている。月形藤の園では、ダイバーシティの考え方を導入し、地域の障がい者や元気高齢者、女性などさまざまな就労的な課題を抱えている人たちにも、施設を地域の雇用の場として開放してきた。これからの大きな取り組みとして、障がい施設と高齢施設の枠組みの違いを超えて協働していける体制作りや、地域との関係づくりを次年度以降は模索していきたい。

新型コロナウイルスの脅威はいまだ収まらず、世界ではウクライナ戦争があり、日本においても対岸の火事とは言えない社会情勢のなか、社会福祉法人のおかれた環境も一層の厳しさを増している。そのような荒波を乗り越え、当法人が生き残っていけるよう、法人全体の課題を整理しながら、さらなる改善を職員と一緒に取り組んでいきたいと考える。

役員を選任

令和3年度の役員選任は、次のとおりである。

《理事選任》 (任期：令和3年6月18日～令和4年度決算に係る定時評議員会終結時まで)

阿部 アイ子	橋本 伸也	佐藤 秀雄
渡辺 寿子	渡邊 清子	棟 達也
保坂 昌知		

《監事選任》 (任期：令和3年6月18日～令和4年度決算に係る定時評議員会終結時まで)

渡邊 俊井	高野 司
-------	------

《評議員選任》 (任期：令和3年6月18日～令和6年度決算に係る定時評議員会終結時まで)

ゴ-ルトベック・エリザベト・マリア	須田 晟雄	田中和 男
初山 清仁	大林 啓二	三浦 信一
三戸部 隆	堀 広一	

役員会等の開催状況

令和3年度において審議された案件は、次のとおりである。

(1)理事会

開催年月日	出席者数	議 題	審議結果
令和3年 6月3日	理事7名 監事2名 (書面審議)	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.新型コロナウイルス対策状況 ①令和2年度 決算報告案 ②令和2年度 事業報告案 ③評議員候補者の推薦案 ④理事及び監事候補者の推薦案 ⑤評議員選任解任委員の選任案 ⑥規程改正案 ⑦評議員会の開催	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
令和3年 6月18日	理事7名 監事1名 (書面審議)	1.役員を選任 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.理事長及び常務理事の職務執行状況 ①理事長の互選 ②常務理事の互選	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決
令和3年 10月15日	理事7名 監事2名 (書面審議)	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.理事長及び常務理事の職務執行状況 ①補正予算案 ②規程改正案	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決
令和3年 11月26日	理事7名 監事2名 (書面審議)	①介護ロボット等導入事業に係る一般競争入札	原案可決
令和4年 3月18日	理事6名 監事1名	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.理事長及び常務理事の職務執行状況 6.入札執行状況 ①令和3年度 補正予算案 ②令和4年度 事業計画案 ③令和4年度 予算案 ④規程改正案 ⑤評議員会の開催	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議 題	審議結果
令和3年 6月18日	評議員8名 (書面審議)	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.評議員の選任 6.評議員選任・解任委員の選任 7.令和2年度事業報告 8.新型コロナウイルス対策状況 ①令和2年度 決算報告案 ②任期満了に伴う理事の選任案 阿部アイ子 ③任期満了に伴う理事の選任案 橋本伸也 ④任期満了に伴う理事の選任案 佐藤秀雄 ⑤任期満了に伴う理事の選任案 渡辺寿子 ⑥任期満了に伴う理事の選任案 渡邊清子 ⑦任期満了に伴う理事の選任案 棟達也 ⑧任期満了に伴う理事の選任案 保坂昌知 ⑨任期満了に伴う監事の選任案 渡邊俊井 ⑩任期満了に伴う監事の選任案 高野司	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
令和4年 3月29日	評議員8名 (書面審議)	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.令和3年度補正予算 5.収支状況 6.理事長及び常務理事の職務執行状況 7.入札執行状況 ①令和4年度 事業計画 ②令和4年度 予算	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決

(3) 委員会等

サービス検討会議（第三者委員会）

開催年月日	開催場所	出席者	議 題
令和3年 4月30日	月形藤の園	委員3名 (書面審議)	1. 苦情及びサービス要望等受付状況 ・月形藤の園 ・羊丘藤保育園 ・花川聖マリア 2. 対応状況 3. その他
令和3年 10月7日	月形藤の園	委員3名 (書面審議)	1. 苦情及びサービス要望等受付状況 ・月形藤の園 ・羊丘藤保育園 ・花川聖マリア 2. 対応状況 3. その他

監査等

(1)札幌市

令和3年度の指導監査等は、次のとおりである。

監査年月日	監査実施内容	監査結果
令和4年 1月11日	札幌市保健福祉局監査指導室による『令和3年度児童福祉施設に対する指導監査』 ◎対象施設:羊丘藤保育園	札幌市より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期の通達があり、提出書類は令和3年度に確認されることとなる。

(2)監事監査

法人本部、月形藤の園、羊丘藤保育園、花川聖マリアの監事監査は、次のとおりである。

監査年月日	監査実施内容	監査結果
令和3年 5月21日	1.令和2年度に係る事業報告等	・ 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
	2.令和2年度に係る計算関係書類及び財産目録	・ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。 ・ 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重点において適正に示しているものと認める。
	3.ご利用者の預り金	・ ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、適正な取り扱いであることを確認した。
	4.会計処理状況	・ 普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。
	5.その他（運営状況等）	・ 新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。
令和3年 8月20日	1.ご利用者の預り金	・ ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、適正な取り扱いであることを確認した。
	2.会計処理状況	・ 普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。 ・ 仕訳伝票の内容記載方法について助言した。 ・ 第一四半期の収支状況について確認した。
	3.その他（運営状況等）	・ 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の会計処理等を確認した。 ・ 出勤簿及び有給休暇の取得方法について確認した。 ・ 月形藤の園の補助金関係について、申請状況を確認した。 ・ 月形藤の園の就業について、次年度に向けた拘束時間の短縮及び定年年齢延長の検討状況を確認した。 ・ 新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。
令和3年 11月19日	1.ご利用者の預り金	・ ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、金額記載について1件の記載誤りがあったが、その他は適正な取扱いであることを確認した。
	2.会計処理状況	・ 普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。
	3.その他（運営状況等）	・ 36協定の提出方法について助言した。 ・ 新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。
令和4年 2月18日	1.ご利用者の預り金	・ ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、金額記載について1件の記載誤りがあったが、その他は適正な取扱いであることを確認した。 ・ 確認日から監査当日までに現金移動がある場合は、移動金額を記載するよう助言した。 ・ 退所者の報告書は不要であることを確認した。
	2.会計処理状況	・ 普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。 ・ 退職給付引当金と退職給付引当試算で差異があり、訂正するよう助言した。 ・ 積立金の使用方法について助言した。 ・ 処遇改善補助金に係る給与単価について助言した。
	3.その他（運営状況等）	・ 有給休暇の取得率向上について助言した。 ・ 新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。

研修実施状況

令和3年度の法人に係る研修は新型コロナウイルス感染症の拡大にともない参加を中止した。

補助金受入状況

令和3年度に受入れた補助金・助成金は 29,657,334 円であり、内訳は次のとおりである。

補助金	養護	特養	羊丘藤保育園	花川聖マリア	本部	合計
福祉事業所感染対策備品購入事業補助金（月形町）	333,333	666,667				1,000,000
介護ロボット導入支援事業に係る補助金（北海道）	593,000	15,060,000				15,653,000
感染症対策徹底支援事業（北海道）	489,000					489,000
感染症対策徹底支援事業（月形町）					200,000	200,000
職業安定局トライアル雇用助成金	120,000					120,000
福祉施設等冬季燃料費助成金（月形町）	250,000	300,000				550,000
感染防止対策支援事業支援金（北海道）		60,000		10,000		70,000
介護施設サービス提供体制構築支援事業（石狩市）				200,000		200,000
スズメバチ駆除費（月形町）					7,000	7,000
就労定着支援事業（月形町）					500,000	500,000
借入利子補助金（札幌市）			243,264			243,264
時間外保育補助金（札幌市）			2,001,850			2,001,850
各種補助金（札幌市）			6,131,730			6,131,730
一時保育補助金（札幌市）			8,700			8,700
アレルギー食補助金（札幌市）			168,000			168,000
障がい児保育事業補助金（札幌市）			956,410			956,410
処遇改善特例補助金（札幌市）			503,380			503,380
新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金（札幌市）			855,000			855,000
合 計	1,785,333	16,086,667	10,868,334	210,000	707,000	29,657,334

資金収支実績

令和3年度の資金収支実績は、次のとおりである。

(単位：円)

区分		R 1	R 2	R 3
事業活動 収入内訳	法人本部 (修学資金含む)	2,164,222	7,438,986	1,939,565
	養護部	105,166,334	105,344,784	104,346,901
	特養部	129,175,145	127,825,205	112,990,888
	ユニット	139,916,999	149,735,427	144,333,575
	羊丘藤保育園	138,365,475	139,917,908	134,715,866
	花川聖マリア	28,487,130	41,099,833	43,053,027
	花川 公益事業	-	14,356,363	15,922,576
事業活動収入計		543,275,305	585,718,506	557,302,398
事業活動 支出内訳	人件費	377,596,364	411,220,647	408,963,976
	事業費	85,988,390	86,540,594	87,905,319
	事務費	63,407,122	61,968,482	66,768,591
	その他	5,101,393	4,968,882	5,105,945
事業活動支出計		532,093,269	564,698,605	568,743,831
事業活動資金収支差額		11,182,036	21,019,901	▲ 11,441,433
施設整備等収支差額		▲ 16,357,380	▲ 15,314,160	▲ 28,017,840
その他の活動収支差額		7,666,655	1,905,505	45,010,195
当期資金収支差額		2,491,311	7,611,246	5,550,922
当期末支払資金残高		142,767,151	150,378,397	155,929,319
積立金残高		148,871,574	140,496,574	89,409,574